

<外食・中食 調査レポート>

2017 年第 3 四半期の動向 客単価上昇で市場規模は+2%、客 数は 5 四半期ぶりに減少

2017 年 11 月 13 日

エヌピーディー・ジャパン株式会社

<外食・中食 調査レポート>

2017年第3四半期の動向

客単価上昇で市場規模は+2%、客数は5四半期ぶりに減少

外食・中食市場情報サービス『CREST®^{*1}』を提供するエヌピーディー・ジャパン株式会社（東京都港区、トーマス・リンチ代表）は、外食・中食市場 2017年第3四半期（7-9月）の動向分析レポートを2017年11月13日に公表します。また、外食・中食市場の動向を分析・解説する無料セミナーを2017年12月6日(水)に開催します。

本分析レポートでは、大きく以下のことが分かります。外食・中食市場の2017年第3四半期の市場規模は5兆2357億円で前年同期比+2%成長しました。客単価が+3%上昇したことで市場規模が成長しましたが、客数は5四半期ぶりにマイナス成長となりました。業態別では、スーパーの客数が大きく減少しました。また、食機会別の伸び率を見ると、朝食と昼食は横ばいで、他のすべての食機会がマイナスとなりました。

・外食・中食市場の市場規模は5兆2357億円で2%増

外食・中食市場全体の2017年第3四半期の成長率（図表1）をみると、売上（市場規模）は、5兆2357億円で対前年同期比2%増、4期連続のプラス成長となりました。この市場規模の成長は、客単価上昇（+3%）によるものです。客数（食機会数^{*2}）は1%減で、2016年第2四半期以来5四半期ぶりのマイナスとなりました。

<図表1> 外食・中食市場 成長率
2017年第3四半期 vs. 2016年第3四半期 %

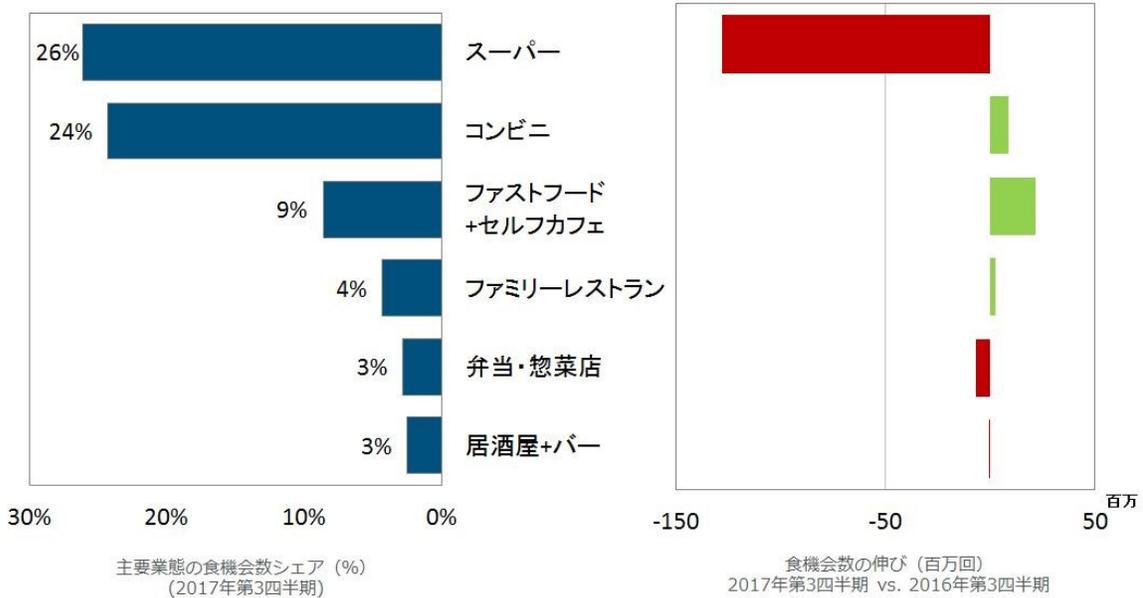


出典：エヌピーディー・ジャパン(株) CREST®より

・スーパーの客数が大幅減

業態別の食機会数の成長率（図表 2）をみると、全体の 26%を占めるシェア 1 位のスーパーマーケットが前年同期比でマイナス 1.3 億食機会（5.1%減）と大きく減少しました。スーパーのマイナス成長は 3 期連続です。今期は外食・中食市場の食機会数減少の 95%を占め、市場全体の客数（＝食機会数）2%減少の要因はほぼスーパーの減少によるものだったことが分かります。

<図表2> 主要業態の食機会数シェア(2017年第3四半期)と食機会数の伸び

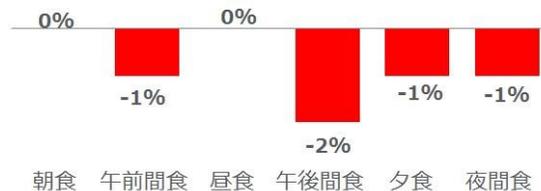


出典：エヌピーディー・ジャパン(株) CREST®より

・朝食と昼食は横ばいで、他はマイナス

食機会別の成長率（図表 3）をみると、プラス成長した食機会はなく、朝食と昼食は横ばい、夕食と午前間食、午後間食、夜間食はそれぞれマイナス成長となりました。

<図表3> 食機会別 食機会数成長率
2017年第3四半期 vs. 2016年第3四半期 %



出典：エヌピーディー・ジャパン(株) CREST®より

外食・中食市場においては、2015年末からの消費者の節約志向から、デフレ傾向になるのではないかという懸念がされてきました。本 CREST においても、2015年第4四半期から客単価の伸びは5四半期連続で横ばいが続いてきました。2016年第4四半期に市場が再成長し始めてから、客単価も連続して上昇しています。客単価上昇の要因は、購入点数の増加ではなく、アイテム単価の上昇です。2017年10月からは、低単価業態の代表ブランドである鳥貴族が値上げをしたり、ビールの価格上昇があったりと、外食業態で値上げの波が来つつあります。他社への追従も合わせ、今後短期間に値上げする企業が増加していくことが予想されます。

人件費の上昇など経費増加で、外食企業の利益が圧迫されている現状で、このような市場全体で客単価が上昇している機運に値上げや客単価上昇を狙っていくことが売上・利益確保のチャンスとなるでしょう。

本分析の詳細をもっと知りたい方へ

「外食・中食マーケットトレンドセミナー2017年第3四半期編」12月6日開催決定

本分析を含めた外食・中食市場全体及び主要業態（ファストフード+セルフカフェ、ファミリーレストラン、居酒屋、コンビニ、スーパー）の2017年第3四半期の動向について分析・解説するセミナーを無料で開催します。

本セミナーは、12月6日（水）午後3時10分より品川にて開催します。

セミナー特典として以下の2つの分析とインサイトを紹介します。

「客単価上昇のキーセグメント」

「2017-2018 トrendキー食材とキーワード」

詳細・申込は、以下のウェブページをご覧ください。

http://www.npdjapan.com/information/info_seminar2017q3/

*1. **CREST®**

外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」など消費者のあらゆる喫食動態データを、1年365日、直接消費者から収集し、年間13万を超えるサンプル数を元に調査分析できる情報サービスです。外食市場規模、中食市場規模、客数を業態、セグメント別に把握可能です。

詳細 URL: <http://www.npdjapan.com/service/food.html>

*2. **食機会数**

外食・中食を利用した延べ食機会（朝/午前間食/昼/午後間食/夕/夜間食）数

■本件に関するお問い合わせ先

エヌピーディー・ジャパン株式会社

担当：東（あずま） さやか

TEL：03-5798-7663

FAX：03-5798-7665

Email：npdjapan.info@npd.com

■会社概要

会社名 エヌピーディー・ジャパン株式会社

英名 NPD Japan Ltd.

設立年月日 2003年 3月 31日

所在地 〒108-0074 東京都 港区高輪 3-23-17 品川センタービル 8F

TEL (03) 5798 - 7663

FAX (03) 5798 - 7665

資本金 80,000,000 円

株主 The NPD Group Inc. (100%)

代表者 トーマス・リンチ

所属団体 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会